

兵庫県連盟創立 70 周年記念  
第 19 回兵庫連盟合同野営大会  
スカウトの祭典  
Hyocam2021

# 安全管理ハンドブック



兵庫県立兔和野高原野外教育センター

令和3年8月4日(水)～8月9日(月)

日本ボーイスカウト兵庫連盟

# 目次

1：会場使用にあたっての注意	2 頁
2：野営生活における安全管理	2 頁
セーフ・フロム・ハームの実施	2 頁
野営日課	2 頁
正しい用具の使用 薪について	2 頁
食中毒の防止	3 頁
害虫・毒草木の被害防止	3 頁
火災防止	4 頁
キャンプ用灯火の使用	4 頁
3：野営場内設備	5 頁
給水設備	5 頁
排水設備 簡易濾過	5 頁
トイレ	5 頁
簡易シャワー	5 頁
ゴミ処理について	6 頁
4：遺失物・忘れ物の扱い	7 頁
5：車両通行に関して	7 頁
6：参加隊の輸送について	7 頁
7：機材・資材搬入搬出について	8 頁
8：配給について	9 頁
9：食堂について	9 頁
10：緊急退避について	9 頁
11：健康調査書の提出	9 頁
12：救急・医療について	10 頁
13：食物アレルギーに対する対策と対応について	10 頁
別紙 1、標準献立表	
別紙 2、野営場内案内図	
別紙 3、交通調査アンケート	
別紙 4、駐車場使用申請届	
別紙 5、健康調査表	
別紙 6、新型コロナ対策について	
付表－1、安全管理組織図	
付表－2、事故対策図 A	
付表－3、事故対策図 B	

## 1. 会場使用にあたっての注意

最近のコロナ禍により、三密を避けるため野営地を変更せざる負えないことから、今回兵庫県立兎和野高原野外教育センターのキャンプ場を借用し、自然と共存した、スカウトスキルを活かした野営を行うことを目的とします。施設には色々と設備が整っていますが最低限の設備だけを利用し、運営しますので不便な生活を快適に変える本来のボーイスカウトの野営を満喫してください。

プログラム地域・アリーナ地域・野営区・本部野営区以外の敷地外への立ち入り禁止とします。

センター内には他の団体や職員の方々もいらっしゃいますので、ご迷惑を掛けない様配慮し、挨拶はもとより、ゴミ拾いなど、日々の善行を心掛けましょう。

## 2. 野営生活における安全管理

- (1) 新型コロナウイルスの感染予防に関する、三密を避け、手洗い・うがい、マスクの着用は基本的に励行する事。但し、気温、湿度等を考慮して密にならないところではマスクを外し、熱中症予防にも留意する事。(詳細については、刻々と変わって来ているので、コミッショナーからの指示に従う)
- (2) 安全で快適な野営生活を送るには、指導者・スカウトとも予想される危険の予防に努め、安全を先取りすることが重要である。  
セーフ・フロム・ハーム（思いやりの心を育むプログラム）の実施、スカウト・指導者・団関係者・大会スタッフが趣旨を理解し、実践・徹底する事で、未然の事故防止・早期の問題解決だけでなく、スカウト活動に対する保護者からの信頼や、地元地域の方々への大会へのご理解を得ることが出来ます。
- (3) 参加者は野営日課を厳守し、食事・睡眠・排泄・更衣・清潔等の基本事項を身に付け、健康に留意した快適な生活環境の保持と時間の管理により、節度ある野営生活を送ること。
  - ① 野営大会出発まで規則正しい生活を送り、体調を整える。
  - ② 出発前1週間の健康状態に異常がないかを確認する。
  - ③ 大会期間中を通じて、定時に健康調査を行う。
  - ④ 健康と安全の基本となる洗顔、手洗、水浴、着替えを励行する。
  - ⑤ 肌着の洗濯、衣類・寝具類の乾燥、テント内外の乾燥に留意する。
  - ⑥ 活動中は常に名札、健康保険証（本証かコピー）、別紙5の健康調査書に必要事項を記入したものを所持し、緊急の場合にはすぐに連絡や対応を行う。
- (4) 正しい用具の使い方
  - ① 設営のための用具の使用は、平素の訓練の成果を示すよい機会であることを念頭において行う。炊事は、たちかまどを作成して行う。
  - ② 包丁、ナタ、斧、ナイフ等の刃物の正しい扱い方と安全管理を徹底し、刃物による傷を負わないように、特に注意する。

- ③ 薪は、野営場内の枯れ木を利用するが、不足分は大会本部より一定数を配給する。  
ファイヤーを計画している隊は別途有償受付します



配給薪サンプル：400～500 mm

## (5) 食中毒の防止

食中毒予防の3原則、食中毒の大部分は細菌によるもので、下記のことには注意する。

- ① 清潔の原則（食中毒菌をつけない）消毒アルコール等を使い、ゴム手袋、ラップを使う。外傷のある人は触らない、手洗い・まな板洗浄乾燥も十分に洗う。
- ② 温度の原則（食中毒菌を殺す）出来るだけ低温で保管する。
- ③ 迅速の原則（食中毒菌を増やさない）

上生水も、そのまま飲用水とせず、煮沸して麦茶、湯冷まし等にして使用する。  
（河川水は野生動物等の菌が有るので、雑用水として使用する）

## (6) 害虫・毒草木の被害防止

ブヨ、蚊、ハチ、ダニ、セアカゴケグモ、ヒル等による被害防止には、状況に適した長袖、長ズボン等の服装を心がけることが必要である。

暑いからといって半袖・半ズボンで藪や雑草地に入ることは避ける。

また、被害を受けた際には、初期治療（石鹼水と流水で皮膚を十分に洗浄し、冷湿布を施す）によって症状の緩和につとめる。症状発生時は救護所で受診すること。

兎野高原では、特にスズメバチ、毛虫（ケアシドクガの幼虫）ツタウルシ、マムシ、ツキノワグマには注意して下さい。



スズメバチ

スズメバチが飛んできた時は、あわてずゆっくりと動きましょう。しゃがむのが効果的です。手を振り回したりせず、その場でハチが居なくなるまで待ちましょう。もしハチに刺されたら流水で洗い、その後幹部を冷やし、必ず病院へ行きましょう。「さわらない」「近づかない」



毛虫（キアシドクガの幼虫）別名 ドクガ

無害な毛虫も少なくありませんが、ドクガの幼虫には毒針毛があり触れたり風に乗って飛んでくると、気が付いた時には皮膚が炎症を起こして「とても痒い！」なんてこともよくあるので注意が必要です。



#### ツタウルシ

うっかりかぶれ成分に触れてしまったときにはどうすればよいかですが、水洗いはだめです。かぶれ成分は、油脂なので水では落ちず、かえって広がってしまいます。先に石鹸を泡立てて洗い、最後にぬるま湯で流すのがよいようです。ちょっと山の中では無理ですね。いずれにしても山の中では、とにかく近づかない、触らないことです。



#### マムシ

頭が三角形で体に銭型の模様があり、太く短いヘビ。草むらや水場の周りやたまには道端で昼寝？かまれると毒をもっており、ひどい時には死に至ります。早く病院に行く必要があります。「さわらない」「近づかない」



#### 月の輪ぐま

大変臆病な性格で、びっくりさせない様音のなる物で人がいることを知らせ、クマと出会うのを避けましょう。出会ったら慌てずその場から離れましょう。近づいて来たら落ち物をつつ置いてクマの気をそらしゆっくり逃げましょう。生ごみ等食べ物を野外に置かないようにしましょう。

### (7) 火 災

- ① 参加隊や本部は、火気の取り扱いおよび火災発生の防止に万全の注意を払う。たちかまど付近には、消火用水を参加隊で設置・管理する。
- ② 火災が発生した場合は、直ちに周囲に伝えるとともに応急消火に努め、野営管理部に通報する。

### (8) キャンピング用灯火の使用

テント内でのロウソクの使用を禁止し、電池・ソーラーを使用した器具使用をすすめる。

各隊（班）の食堂等の灯火としては、これまで同様「液体燃料（ホワイトガソリン・灯油）」や「ガスボンベ」等を使用した灯火の使用も可能であるが、その取り扱いには十分に注意する。空き缶は回収しないので、参加隊で持ち帰ること。なお、発電機の使用は禁止する。

### (9) 途中入退場

スカウトの途中入退場は6：00～22：00とする。成人指導者については時間制限を設けませんがいずれも入場時、退場時には地区担当責任者経由で受付に許可を受けること。野営管理部として安全管理上、入退人数の把握が必須のため。

### 3. 野営場内設備

#### (1) 救護施設

救護所で、けが、発熱等体調不良時・アレルギー発症等の場合は、すぐに利用下さい。

#### (2) 給水設備

仮設給水設備を設置し、給水専用とします。

流しに付属のホースで、ポリタンクに給水。ホースは地面につけない。給水後はカランを締めて、水の無駄をなくしましょう。

#### (3) 排水設備

流しでは、汚水の排水を禁止します。

野営場には、下水配管がありますが、洗面・洗濯・食事準備片付（食器・炊具の洗浄含む）は、サイトで残飯類を水切り後、簡易ろ過機（隊指導者の手引き（プログラムがト）P12参照）を使用し、下水配管へ排水してください。油分は、吸着紙・キッチンペーパーで対処します。*成人サイトも同様です。*

簡易ろ過用の濾材および砂は到着受付後、野営管理部で配給します。ざる・あみ・ポリタンクは参加者側で準備ください。

自然にやさしい石鹼（食器：野菜：果物：手洗：洗濯に希釈して利用）を配給しますので、500mlの空ペットボトルを持参ください。今回配給する「ココナツ洗剤」は、水で希釈して使用してください。

<http://coco-blueseas.jp>

界面活性剤 15%（ヤシ脂肪酸 100%）香料色素無添加 非石油 非イオン系

野菜・果物・食器洗い・調理器具・綿-麻・合成繊維の洗濯石鹼代わり

#### (4) トイレ

既設トイレ・仮設増設トイレは期間中、参加者が気持ちよく使用出来るようにお互いに、きれいに使いましょう。汚した場合は、自らが、使う人の身になって清掃しましょう（清掃用具は設置します）。

トイレトペーパーは供給し、汚物は汚物箱を設置し、トイレには流さない事。近隣団で清掃奉仕をお願いします。故障の場合は野営管理部に連絡して下さい。

#### (5) シャワー

施設内の浴場を利用しますが、他団体も利用しますので、時間設定をします。使用時間は別途掲示します。

## (6) ゴミ処理について

- ① 余分な、不要なものは持ち込まないように、竹・丸太等資材は持ち帰りまたは焼却を基本とします。最終日ゴミ持ち込み時点で、回収しない場合もあります。
- ② 会期中は施設の回収区分に従い塵芥を分別して野営管理部にてチェックをし、施設職員のチェックを受けた上で、ごみ収納庫へ指定時間に収納して下さい。指定袋は配給しますので、サイト番号をマジックで記載して廃棄して下さい。分別が不十分な場合は、その場でやり直し願います。  
(詳細については別記「ごみ処理の手順」参照)
- ③ 野生動物が食しないように地中埋設を禁止します。  
大会終了後に発覚した場合は参加隊に連絡を取り、対処していただきます。
- ④ ボトル缶・ビン・缶詰は、持ち帰り願います。

# 兎和野高原野外教育センター

## ごみ処理の手順

### 1. ごみを3種類に分別する

#### ① 燃やすごみ (燃やすごみ袋)

生ごみ	お弁当の残り、野外炊事で出たごみ等
紙のゴミ	プリント類、包装紙、新聞紙
プラスチック、 ビニールのゴミ	弁当箱、ペットボトルのラベル、菓子袋
その他	輪ゴム、アルミホイル、トイレの汚物 (袋のまま)

※ダンボールは小さくちぎりごみ袋に入れるか、お持ち帰り下さい。

※配給時使用したダンボールについては配給所に返却してください。

#### ② 資源ごみ (ペットボトルのみ)

- 1) キャップを外す    2) ラベルを剥がす    3) 潰さずゴミ袋へ

※キャップ回収ボックスは、宿泊棟 1F ロビー・2F 談話室前、管理棟にあります。

- ### 2. ごみ収納庫には鍵が掛かっています。センターの職員が鍵を開けます。指定された時間外には収納庫に収納出来ません。収納庫の前に置いたままにすることの無いようにして下さい。

#### 参加隊準備品

簡易ろ過機、ごみ受けざる・あみ、給水ポリタンク、油吸収ペーパー・凝固材、ごみ袋（指定ゴミ袋配給）、液体洗剤容器（500mL）、クーラーボックス、汚水排水用キャップ付きポリタンク（下水専用）

#### 大会本部準備品

氷、指定洗剤、ろ過器吸着マット、ろ過器砂、トイレトペーパー

## 4. 遺失物・忘れ物の扱い

所持品は、所属隊・氏名を明記すること。

期間中の遺失物・忘れ物の届け・保管は総務部で行います。大会終了後は3ヶ月を目途に廃棄します（保管場所：県連事務局）。保管中に腐敗・破損の可能性がある場合と大会本部が判断したものは廃棄処分とします。

## 5. 車両通行に関して

場内は配給物資の運搬等業務用車両が通行しますので、十分注意してください。

公道通行は交通ルールを守り、地域住民の日常生活に迷惑をかけない様に、特に早朝・夜間は配慮しましょう。場外では、交通安全ルールを守ること。

大会開催期間中は大会関係車両・救護関係車両以外の入場を制限します。

参加隊関係の車両は第二グラウンド前の駐車場に駐車してください。指定駐車場使用申請書（別紙4）による申請が必要です。歩行困難な方は、会場と駐車場の移動を送迎車両で対応します。

## 6. 参加隊の輸送について

交通手段と到着時間を事前に調査し、調整させていただきます。

輸送アンケート（別紙3）をご提出ください。

#### 【往路】

貸切バスについては、センター管理棟横の駐車場で降車後、野営地の受付を済ませて、サイトへ入場してください。

個人装備は各自で運搬しましょう。

#### 【復路】

撤収完了後、点検を受けた隊から退場して下さい。当日、管理棟横にバスを配車する予定ですが、他団体の車がある場合があり、できるだけスムーズに乗車でき

るよう整理しますので、速やかに移動をお願いいたします。全ての運行がスムーズに出来るようご協力願います。

## 7・機材・資材搬入（ルートは基本実施要項に添付済）

施設との取り決めにより、車両の乗り入れを制限しています。

□搬入日 8月3日～

□搬出日 ～8月10日

搬入日は、受付を済ませて野営管理部の指示で仮置き場へ機材を搬入していただきますが、機材・資材を搬入した後速やかに指定された駐車場に移動願います。他隊も搬入もされますのでお互い譲り合い、スムーズに行動して下さい。

事前の搬入は一切できませんので、注意してください。

大会開催日以前の無断宿泊は禁止します。宿泊を希望する場合は、直接兎和野高原野外教育センターへお問い合わせの上、予約してください。

搬出時間は、8/8の参加隊長会議で詳細打合せを行います。スカウトが撤収した事を確認後搬出しますので、野営管理部が案内するまで第二グラウンド前駐車場に待機願います。

### (1) 車両

大会期間中（8/3～8/10）のスカウト関係者は、一切の車両の通行を禁止します。

車両については全て第二グラウンド前駐車場に留め置きして下さい。公道での不法駐車も一切禁止します。（掲示板に車両番号掲示）

駐車される車両は全て指定駐車場使用申請書（別紙4）による事前申請が必要です。

見学等の来訪者も、事前申請の上、第二グラウンド前駐車場に駐車願います。

（当日駐車申請可）

野営場業務駐車場は、夜間プログラムで使用する場合があります。

歩行困難な方については、本部が送迎を行います。

### (2) 大会関係車両

下記車両は、業務上通行許可証を表示しています。

救急関係車輛                      食材搬入車輛

ごみ収集車輛                      し尿回収車輛

大会本部指定車両（設備維持管理車両・送迎車両）

## 8. 配給（食材・氷）について

大会受付時に参加隊配給担当者（指導者）の氏名と、期間中有効な携帯電話番号を申告下さい。申告書は現地受付時に配布いたします。配給・誤配給等に関して利用しますので、事前に担当者を決定しておいて下さい。

配給時には、受取用容器・運搬台車等を事前準備の上、配給を受けて下さい。

配給時間に来られない隊は不要とみなし、配給時間外の保管は出来ません。

食材は、標準献立による生鮮物の配給が基本です。配給予定表以外の食材は、参加隊で事前調達し、持参して下さい。（別紙1 基本献立参照）

配給食材によるアレルギー体質の方に対しては、代替食材の提供等の個別対応は出来ませんが、事前に配給食材のアレルギー対象品目の有無を明示します。各隊で、健康調査等を通じて個人情報把握し、代替食材を持参する等、参加者への支援をお願いします。

配給時間はコアタイムとして、15:00～16:00を予定していますが、食材の輸送の遅延等により配給タイムの延長や早朝配給の可能性も有ります。変更時は、業務掲示板・配給担当者へ個別連絡を行います。配給担当者に変更になる場合は、野営管理部配給班長へ連絡してください。誤配給対策として配給管理表等により管理します。紛失しない様保管、管理して下さい。

## 9. 食堂について

大会本部食堂はスタッフ専用となります。また、来賓接待・見学者の憩いの場としては、野営管理部で対処します。

成人指導者のスカウトがいる場所での喫煙は、セーフ・フロム・ハームの観点から野営区内は「禁煙」とし、喫煙指定場所を設定します。

## 10. 緊急退避について

野営本部長は、台風や豪雨等によって野営生活が困難であると判断した場合、速やかに参加隊に退避命令を発令します。

- ① 退避の指示を受けた参加隊は、時間の許す限りキャンプサイトを整理し、一部の指導者が残留し、事後の監視を行ってください。
- ② 退避する参加隊は、寝具・個人携行品・すでに配給を受けた食料（非常食を含む）を取りまとめ、予め指示された緊急集合場所に移動してください。
- ③ 退避者およびその退避先を把握するために野営本部長は退避用車両に野営管理員を添乗させ、その状況を逐次大会本部に連絡させます。

## 11. 健康調査書の提出

参加スカウトおよび指導者は、健康調査書（別紙5）に必要な事項をもれなく記入してください。コピーを含めて3部用意し、1部は派遣隊で保管、1部は本人が活動中常に携帯し、残りの1部を受付時に提出します。

特別な配慮が必要な場合は、Ⅰ～Ⅳへの記載だけではなく、必ず「Ⅴ その他、配慮を必要とすること」欄にも記載してください。（例：定時の服薬が必要あり 等）また、服薬情報や、発症時に使用する個人薬などの所持情報も、もれなく記入していただくようお願いします。食物アレルギーについては11項もご覧ください。ご提出いただいた調査書は、個人情報保護の観点から適切に管理いたします。

## 12. 救急・医療について

① けがや病気の処置は救護部、病院への連絡・搬送は、原則として野営管理部で対応します。

② 緊急時の周辺医療機関（保険証は表裏コピー有効）

公立村岡病院 TEL 0796-94-0111（所要時間20分）

【注意】 要事前連絡・救急車受入無し・夜間受入無し（17:00～翌7:30の間）

村瀬医院 TEL 0796-94-0003（所要時間20分）

【注意】 要事前連絡・救急車受入無し・夜間受入無し（17:00～翌8:00の間）

公立八鹿病院 TEL 079-662-3135（所要時間約35分）

公立豊岡病院 TEL 0796-22-6111（所要時間約1時間）

※八鹿病院と豊岡病院は救急車受入可能

## 13. 食物アレルギーに対する対策と対応

野営生活での健康状態、環境の変化、生活の中で、食にかかわるリスクを抱えています。個別の食物アレルギーにすべて対応できるとは思いませんが、提供する食材に関して、また、製造者が事前に表示している、製品に含まれるアレルギー物質（20品目中）は、調達時にわかる範囲で情報提供します。

提供食材にアレルギー発症のリスクがあると考えられる場合は、各隊指導者で別献立の準備対応をお願いします。

また、スカウトがアレルギー症状を発症した際は、状況を記録し、救護所に報告してください。

### □重要：食物アレルギーをもつスカウト・指導者の情報提供ご依頼

飛沫や誤食（菜箸・まな板の共用等による混入）による発症の可能性もあり、原因の特定が困難な場合も予想されます。救護所が適切に迅速な対応を行うためには、個人のアレルギーに関する正確な情報が必要になりますので、次の事項を健康調査書（別紙5）に記載してください。

① アレルギー名

（上記の特定原材料およびアレルギー物質以外の発症も含みます）

② 主治医の氏名と緊急連絡先（緊急時に連絡を取り、指示を仰ぎます）

③ エピペンの使用可否と、個人所持の有無

ご提出を受けた情報は、個人情報保護の観点から適切に管理いたします。

## □エピペンの携行・使用について

派遣隊指導者は、スカウト全員の健康調査書を確認し、エピペンの所持状況を把握しておいてください。該当スカウトが隊にいる場合は、使用方法について事前に学習しておくようお願いします。また、エピペンは常時携行する必要がありますが、薬液の保管可能温度が15℃から36℃であるため、保管状況に注意してください。

使用后、症状が落ち着いたとしても、安易に判断せず、大会救護所に連絡の上、指示を仰ぐようにしてください。対応は事故対策図（付表2、3）に沿って行います。



参考： アレルギー表示QA

<http://www.caa.go.jp/foods/pdf/syokuhin12.pdf>

アレルギー表示パンフレット（患者・消費者向け）

[http://www.caa.go.jp/pdf/syokuihin\\_18.pdf](http://www.caa.go.jp/pdf/syokuihin_18.pdf)

消費者庁の食品表示に関するHP

<http://www.caa.go.jp/foods/index.html>

### 特定原材料7品目

小麦：乳：卵：ピーナツ：そば：えび：かに

### 製品に含まれるアレルギー物質20品目

あわび：いか：いくら：さば：さけ：オレンジ：キウイフルーツ：バナナ：りんご：もも：やまいも：大豆：くるみ：牛肉：鶏肉：豚肉：ゼラチン：まつたけ：ごま：カシューナツ